

# 会 議 録

会議の名称		令和7年度第2回守谷市文化財保護審議会		
開催日時		令和7年10月22日（水） 開会：10時00分      閉会：11時30分		
開催場所		守谷市役所 小会議室1		
事務局（担当課）		教育委員会 生涯学習課		
出席者	委 員	根本委員，鈴木委員，横張委員、増記委員、松本委員 石井委員、小田野委員 計7名		
	その他			
	事務局	福島次長、江田係長、甲斐主任		
公開・非公開の状況		<input type="checkbox"/> 公開 <input checked="" type="checkbox"/> 一部非公開	傍聴者数	0人
公開不可の場合はその理由		議題（2）未指定文化財修理報告について（3）未指定文化財の調査記録について、に非公開事項が含まれるため		
会 議 次 第		1. 開会のことば 2. 議題 （1）永泉寺「聖徳太子立像」の県調査について （2）未指定文化財修理報告について（非公開） （3）未指定文化財の調査記録について（非公開） 3. 報告事項 4. 閉会のことば		
確 定 年 月 日		会 議 録 署 名		
令和7年11月18日		横張 克博		

## 審 議 経 過

事務局：定刻になりましたので、ただいまから令和7年度第2回守谷市文化財保護審議会を開会します。

本日の会議には委員8名のうち、7名の委員が出席されておりますので、守谷市文化財保護審議会条例第7条第2項の規定により会議は成立しております。

また、「守谷市審議会等会議の公開に関する指針」に基づきまして、本会議を一部公開としましたが、傍聴希望者はありませんでしたことを併せてご報告いたします。

なお、本日の会議録は、後日、市ホームページにて公開いたします。

その際、ご意見と併せて、発言者のお名前を記載させていただきたいと思いますがよろしいですか。

<了承>

事務局：会議に先立ち、横張会長からごあいさつをお願いします。

<会長挨拶>

ありがとうございました。それでは、次第に沿って会議を進めます。本日の会議は、11時30分までの約1時間30分を予定しておりますので、ご協力をお願いします。

それでは、議事に入ります。

議事の進行につきましては、守谷市文化財保護審議会条例第6条第2項の規定により横張会長をお願いします。

横張会長：まずは、議題(1)永泉寺「聖徳太子立像」の県調査について事務局から説明をお願いします。

事務局：9月29日に茨城県からの依頼で永泉寺「聖徳太子立像」の予備調査に立会をさせていただきました。守谷市文化財保護審議会からも自主研修ということで5名が参加しました。

今回調査を担当したのは、茨城県の文化財保護審議会委員 浅見龍介氏、この方は彫刻担当の方で、東京国立博物館副館長でもあります。

茨城県立歴史館 薮政人学芸員、この方は令和3年雲天寺「祐天上人坐像」の調査を担当された方です。そして、茨城県教育庁総務企画部文化課 石井裕氏の3名です。

浅見委員による調査報告書を後日、県よりいただける予定です。

頭と胴体が切り離せる作りになっており、今回は頭を外して調査をしたのですが、「差し首」という胴体との接続部分に穴があり、そこからファイバースコープカメラが入りそうなので、次回は頭の内部を調査したい、ということです。次年度以降になるかと思いますが、再度調査依頼が入る予定です。

前回の文化財保護審議会で「聖徳太子立像」を県指定文化財候補に挙げてはどうか、というお話をしていたところですが、既に県指定候補のリストに入っているため、守谷市からの改めての推薦は不要、と文化課 石井氏に確認しました。今後の調査と報告を待ちたいと思います。事務局からは以上です。

横張会長：「聖徳太子立像」についてみなさん何かありますか。

私も見ましたが、顔が少し黒くなっていました。水戸のお寺のほうの「聖徳太子」は顔が白いです。それとは別の印象を受けます。それと、笏が取れてしまっているようです。どこかで、あるいは永泉寺でなくなってしまったのでしょうか。

松本委員：美豆良が新しくついていましたね。

増記委員：修復をしています。

横張会長：では、これについては県の調査を待つということではよろしいでしょうか。

増記委員：県指定候補に挙がっているということですが、結果はいつごろ分かるのでしょうか。

事務局：今回の調査報告書は近日中にいただける予定です。県指定候補に挙がっている県内の文化財は50点ほどあるそうで、その中で優先順位をつけて調査していくということです。この像に関しては継続調査をしたいとお話をいただいております、浅見委員も「とても良い像です」と仰っていましたが、すぐに県指定になることもあれば、数年かかる可能性もあるそうです。

横張会長：以前の県による調査では、年代が鎌倉時代末から南北朝時代のものではないかということでしたが、今回の調査では、南北朝時代以前のものではないかという話がありました。

松本委員：ファイバースコープカメラの調査で制作年代が出てくれればいいですね。

横張会長：内部の削った跡がかなりきれいでした。内部からなにか分かればいいですね。他になにかありますか。

石井委員：とても参考になりました。行って見てよかったです。

松本委員：良かったです。私も初めて見ましたが、寸法を測るのに折尺を使っているというのは初めて見ました。前の寸法と違っていたのは測り方の違いですね。ノギスは使っていなかったです。

横張会長：そうですね。最初の調査資料に比べて若干ですが寸法が違っていました。

石井委員：2回目の調査なのですか。

横張会長：大分前に一度調査がありました。その際の寸法と違っていると、県の方も仰っていました。

事務局：前回の調査は平成12年です。その後平成13年に市指定文化財に指定した経緯があります。

横張会長：ほか、永泉寺については以上でよろしいですか。

根本委員：どのように保管されていましたか。

横張会長：厨子に入れて保管されています。

増記委員：修復した際と変わらずきれいな状態でした。

事務局：年2回のみ御開帳してその他は厨子に入れているとのことです。浅見委員も虫食いなどがいい状態だと仰っていました。

横張会長：では、「聖徳太子立像」については以上でよろしいですか。  
次に議題（2）に移ります。

<議題（2）（3）：非公開>

（所有者の意向により、指定候補の文化財に関する詳細を公開することについて了承を得られないため非公開。）

横張会長：次に、3. 報告事項を事務局からお願いします。

事務局：新規指定文化財の周知について報告します。

広報もりや9月号で新規指定文化財の特集記事を掲載しました。ご覧いただけましたでしょうか。ほか、公式サイトにも掲載済みです。公開の有無についても記載しています。

また、11/9（日）開催の「第3回守谷の歴史満喫ロゲイニング」にて参加者に「(雲天寺) 喚鐘」「(清瀧寺) 熊野観心十界曼荼羅」を限定公開します。なお、県指定文化財（大圓寺）の木造釈迦如来坐像も住職さんのご厚意で希望者に見せていただけることになりました。今年度末にはデジタルミュージアムで画像を公開する予定です。

事務局：次に、足立区からの板碑の寄付受け入れについて報告します。

審議会でお話するのは初めてですが、4年前に一度足立区から板碑を寄付したいと申し入れがあり、お断りをしているそうです。昨年、再度寄付の申し入れがありました。

この板碑は元々守谷市の大木にお住まいで現在は千住にある「浅川家」に代々伝わるもので、大木の<sup>ごりょうざん</sup>御霊山から明治期に発掘された由緒があります。

受け入れるべきものか、判断に迷いましたので、石造物に詳しい石井委員に相談したところ、将門との関連もありうる貴重なものの可能性があるとのことをご意見をいただき、10月に寄付を受け入れました。

今後は、守谷市観光協会に寄託し、拓本を取ってもらい、調査していただきます。そちらにありますので是非ご覧ください。

事務局からの報告は以上です。

<閉会の言葉>

横張会長：これもちまして、議事は終了いたしました。

本日は、ありがとうございました。